

愛の便り

校訓：志が人生を創る

雲仙市立愛野中学校 学校便り

令和6年 4月19日

第83号

文責（校長；末永栄喜）



新年度の滑り出しは順調&活気に満ちています

4月も半ばを過ぎ、新緑が日増しに鮮やかになっています。



先週の金曜日は、長雨の間隙を縫って新入生の歓迎行事が行われました。午前中は、生徒会によるオリエンテーションや部活動紹介があり、生徒会組織や専門委員会活動について説明を受けました。あらためて、私たち教職員の目(手)が行き届かない点を生徒が支え、補い、快適で楽しい学校生活が成り立っていることを痛感したところです。どの専門部もなくはない自治組織です。今後も部員全員の協力で活発化することを願っています。

また、部活動紹介では各部とも趣向を凝らしたパフォーマンスが繰り広げられました。どの学校、部でも部員減少が進んでいますが、今年度の本校入部状況はどうなるか見守りたいと思います。

そして、お昼前には運動公園へ移動し、長らく久しぶりの屋外での弁当。おやつともどもお腹一杯になった後は、全校生徒でレクリエーションを楽しみました。学年を



超えた楽しいゲームや学級対抗の長縄跳びなど、たっぴりと満喫することができたようです。いずれの企画も、春休み返上で準備に奮闘してくれた生徒会役員に感謝です。ありがとう。

さて、今週は年度初め特有の各種調査や学力調査、保健関係の検査等、慌ただしい一週間でした。一方で、本格的な授業も始まりました。ご家庭でのお子さんの様子はいかがでしょうか。

校長室にいますと、授業始めと終わりの元気な挨拶や先生方の指示・発問に混じって発表・発言、そして音読等の元気な声が聞こえてきます。時には拍手も聞こえ、学校らしいなど感じる場面です。今年度の教育活動が順調に滑り出したことを確信しているところです。軌道に乗ってきたこの勢いを大事にしたいですね。新入生にとっては、まだまだ初めてのことが続くと思いますが、この時期だからこそそのワクワク感を大事にしたいと願っています。

来週は授業参観週間です。元気に頑張っている姿を保護者の皆さま、どうぞご覧になってください。



さて、今週の火曜日は生徒集会を開き、学級委員の任命および表彰伝達を行ったところです。今年度のスタートを任せられた各学級の委員は表の通りです。

(敬称略)

学級	氏名	氏名
1-1	三宅 一生	松本 珠来
1-2	今村 愛斗	鉦取 彩奈
2-1	川村 光優	今村 心
2-2	酒井 遼雅	松尾 羽来
3-1	山本 遥也	横田 七星
3-2	友添 偉風	林田 桜花

各学級委員を中心にみんなで力を合わせ、それぞれ楽しい学級、明るく愛があふれる愛野中学校を創っていきましょう。



表彰伝達

◆第34回長崎県少年柔道場連盟大会(3/24)

○中学2年男子重量級の部 優勝 内田 稔弥

○中学2年女子軽量級の部 第3位 南 柚希

◆県南軟式野球連盟会長杯争奪少年軟式野球大会(4/14)

優勝 雲仙 OMA(小浜・南串・愛野合同チーム)

今年度初の表彰伝達(春休み中の大会も含む)でした。中総体まで2か月を切った今、GW にかけて様々な大会が各競技で開催されることでしょう。活躍を期待しています。大事な時期だからこそ、ケガには十分注意してください。

校長室の窓から

火曜日の集会で、中学時代の私的な思い出話を紹介しました。この時期ならではの新鮮な、今でも忘れられないシーンです。それは、真新しい教科書を1ページずつ丁寧にめくりながら折り目をつけていく時の緊張感、そしてワクワク感です。(英語の教科書やノートを初めて手にした時も鮮明に覚えています。)

薄っぺらな単なる紙の束が、指を切るほどの鋭さで立ち向かってきます。この1年、その鋭さを柔軟な頭で1枚1枚柔らかくしながら消化していきたいものです。新年度だからこそその新鮮な気持ちが色あせないようにそして、奮い立つような意気込みがしぼんでしまわないように、日々の学習に臨んでほしいとの思いで話をしたところです。



「学校の組織力」

= 「生徒・教職員個々の意欲」×「チーム7(和・輪)ー7」

「チーム学校」としての機能性や機動性を最大限に発揮するためには、一人一人のモチベーションを高めるための工夫や動機づけが不可欠です。もちろん、お互いに刺激を与え合い(受け合い)ながら、切磋琢磨することが重要です。教師から生徒への働きかけや生徒からの刺激や感動を原動力に生徒同士、教職員同士、さらには生徒と教師の関係性を深めながら学校経営を進めていきたいと考えています。

失敗しない学び方ではなく、失敗から学ぶ。大事なのは、失敗を通して「なぜ失敗したのか」を考え、新しい方法を探し出したり手法を生み出したり、それに向かっていける大人になってほしいと願っています。